

情や心で
は解決しま
せん！！

発達障がいと不登校 具体的な支援で広がる可能性

【講義】「発達障がいと不登校 具体的な支援で広がる可能性」

【事例研究】「事例で学ぶ具体的な支援のあり方」



発達障がいについて今までも研修会などで学んできましたが、発達障がいの基本的な対応が今までピンとこないまま、四苦八苦でやってきました。今回、全く捉え方が違う、『思いやり、誠意、優しさじゃない』と何度も聞き、だから上手く対応できなかったのかと目からウロコでした。

子どもの成長の早さ、『今』の大切さを思うと、ついつい『こうの方が良い』『こうあるべき』という主張をしてしまいがちですが、それぞれの家庭や学校の状態、子ども本人の様子を、敬意をもって伺い、一緒に未来を考える関係作りを第一にしていきたいと思いました。

これまで教育現場で行われてきた『見守りましょう』という心情重視の対応が招く課題について、具体例を交えてご講義いただき、自分のこれまでの対応の仕方を反省しました。生活レベルに落とした声かけの具体例、そして、現在の科学のエビデンスによる裏付けを学ぶことができました。

【講師】 常磐大学 人間科学部 心理学科

あき やま くに ひさ
教授 秋山 邦久 氏



～秋山先生の話聞いた
方々の感想～

『情』や『心』、『優しさ、誠意、思いやり』で対応すると、弊害が表れるケースがあり、具体的な視点、視野、視座を持った支援をすることが重要であるという内容はある意味衝撃的でした。これまでの自分の指導は、説得しよう、納得させようとしていたと思います。『自分の経験はちっぽけである』という考え方を持つ、ということの重要性を感じることができました。

静岡県出身。秋田県職員（心理判定員）として児童相談所や福祉事務所、障害者相談所などに16年間勤務。その後、文教大学大学院、常磐大学大学院にて臨床心理士の養成に携わる。現在は、越谷心理センター顧問、全国の児童相談所や教育委員会のスーパーバイザーを兼務。著書として「臨床家族心理学」「カウンセラーのための104冊」「日本の子ども虐待」など多数。また、中学校家庭科の検定教科書「家族関係」の章の執筆にも15年間携わる。

9月29日(金)

9:50～15:00

◆会場：**ビッグルーフ滝沢 大ホール**

〒020-0665 滝沢市下鶴飼1-15

◆対象：発達障がい・不登校に関わる全ての方
◆定員：会場定員200名程度

※オンラインによる受講も可能です。（You Tubeライブを使用）

◆申込〆切：令和5年9月19日（火）

◆問合せ：県立生涯学習推進センター

☎0198-27-4555 ☎0198-27-4564

※詳細は、「まなびネットいわて」の実施要項をご覧ください→

